

レーザー学会産業賞「貢献賞」受賞



# 大型レーザー装置施設の運転保守事業による 科学技術・産業応用研究への貢献



株式会社NAT

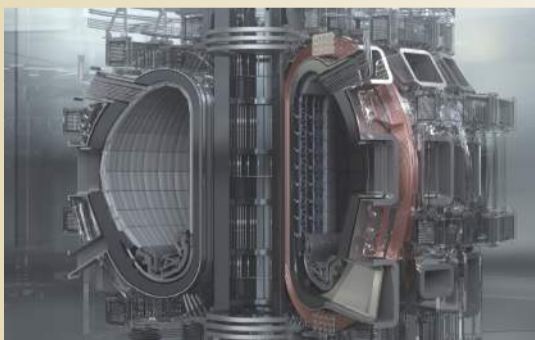


## ● レーザー分野

世界的大強度レーザー装置 激光12号(大阪大学)や高強度レーザー J-KAREN-P(関西光研究所)などの最先端レーザー装置の技術支援を高い技術力で展開

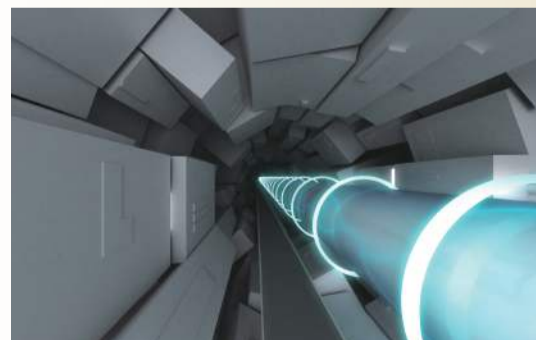
## これからの世界へ私たちができること

弊社は、平成元年10月に創業し大型加速器、磁場核融合装置を中心に研究装置の運転・保守を業務、研究支援業務、工場業務等を行って参りました。平成14年より大阪大学レーザー科学研究所様に設置されておりますGXII号ガラスレーザー装置の保守管理業務、平成28年には国立開発法人 量子科学技術研究開発機構 関西光量子科学研究所様の大型レーザー装置の運転・保守業務を実施させて頂いております。国立大学、国立研究機関以外に関しましても光創生大学院大学様、浜松ホトニクス株式会社様のレーザー装置の運転・保守業務も行わせて頂いております。安定で円滑な装置運用を提供するため装置の改良等もご提案しながら長年、科学研究の発展を支援して参りました。今後も科学技術の発展を支援して参ります。



## ● 核融合分野

先端的な核融合研究開発施設である国際核融合実験炉(ITER)、トカマクプラズマ実験装置(JT-60SA)及び国際核融合材料照射用原型加速器等に関する多種多様な業務を高い技術力で支援



## ● 加速器分野

世界最大級の陽子加速器を中心とした先端科学の加速器等の研究施設にて、多種多様な業務を高い技術力で支援



## ● 放射光分野

次世代放射光であるナノテラス(ナノレベルで可視化できる巨大な顕微鏡)及び立命館SRセンターの放射光施設にて、多種多様な業務を高い技術力で支援



## ● 設計・製作・工事分野

先端科学の研究施設において、高い技術力で多種多様なお客様のご要望に応じる。現場作業は常に"安全最優先"で、工事の完遂を目指す取り組みを実施